

令和6年産大豆栽培ごよみ

(令和6年3月作成)
福岡京築農業協同組合
京築普及指導センター

月	6			7			8			9			10			11			12								
	旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上							
生育相																											
主な管理作業	○排水対策 (周囲の作溝・弾丸暗渠)			○土壌改良材の施用			○種子消毒			○播種・除草剤散布			○第1回中耕培土 (本葉2、3葉期)			○中期除草剤散布			○第2回中耕培土 (本葉4、5葉期)			○病害虫防除 (補正)			○刈取り		
	<p>○病害虫防除 (補正) (ハスモンヨトウ)</p> <p>○病害虫防除 (基幹) (葉斑病・カメムシ類・ハスモンヨトウ)</p> <p>○病害虫防除 (補正) (カメムシ類)</p> <p>うね間灌水</p> <p>降雨が無く、ほ場が過乾燥した場合は、必ず行いましょう。</p>																										

◆コンバイン収穫
 ・収穫の目安は葉が完全に落ち、莢がボキボキと折れる頃です。
 ・雑草や大豆の青立株は汚損粒の原因となるので、刈取り前に引抜きましょう。
 ・朝夕の水分の多い時を避け、日中に収穫しましょう。

◎土壌改良材(10a当たり)

土壌pH矯正と土づくりをしましょう。適性pHは、6.0~6.5

資材名	施用量
生石灰	100kg
細粒苦土石灰	160kg
ミネラルG	200kg
牛ふん堆肥	2,000kg

◆播種時期と播種量

播種時期	株間設定(cm)		目標苗立本数 (本/㎡)	播種量 (kg/10a)
	条間60cm	条間70cm		
6/21~30 (早播き)	30~25cm	26~21cm	9~11本	3~4kg
7/1~10 (適期播種)	25~20cm	21~17cm	11~14本	4~5kg
7/11~20 (適期播種)	20~15cm	17~13cm	14~19本	5~7kg
7/21~31 (遅播き)	15~11cm	13~9cm	19~26本	7~9kg

◆種子消毒(種子1kg当たり)

農薬名	使用量	対象病害虫
クルーザーMAXX	8ml	紫斑病、苗立枯病、ネキリムシ類、ハ害
キヒゲンR-2フロアブル	20ml	紫斑病、苗立枯病、ハ・カサ害

※クルーザーMAXXは、排水不良田等での出芽、苗立ちが安定します。
 ※薬を塗液処理後、乾かして播種を行いましょう。

◆基肥(10a当たり)

肥料名	施用量	備考
くみあい化成	10kg	適期播種
ベスト444	20kg	遅播き、大豆連作田

◆初期除草剤(10a当たり)

○播種前

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
耕起前又は出芽前まで (雑草生育期)	ラウンドアップ マックスロード	200~500ml	50~100ℓ
播種前まで	ブリグロックスL	600~1000ml	100~150ℓ

○雑草が少ない場合

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
播種後出芽前 (雑草発生前)	プロールプラス乳剤	400~600ml	70~150ℓ
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ

○アサガオ類、ホオズキ類、ヒユ類の発生が多い場合 ※2剤を混用して使用

使用時期	除草剤名	使用量	使用水量
播種後出芽前 (雑草発生前)	プロールプラス乳剤	400~600ml	100ℓ
	フルミオWDG※	5~10g	
	ラクサー乳剤	400~800ml	100ℓ
	フルミオWDG※	5~10g	

※フルミオWDGは微量でも他作物に影響を与える可能性があるため、散布した後の散布器のタンクやホース・ノズルはフルミオWDG洗浄剤を使用し洗浄して下さい。

◆中期除草剤(10a当たり)

除草剤名	使用時期	使用量	使用水量	備考
イネ科	ポルトフロアブル	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで	200~300ml	100ℓ イネ科雑草にしか効果がない 周辺の水稻には絶対に飛散しないように注意する
	パワーガイザー液剤	大豆出芽直前~3葉期 (雑草発生始期~2葉期)	200~300ml	
広葉雑草	大豆バサグラン液剤	大豆の2葉期~開花前 収穫45日前まで	100~150ml	100ℓ 広葉雑草にしか効果がない 大豆バサグラン液剤は、アメリカセンダングサ、タデ類に効果が高い アタックショット乳剤は、ホオズキ類、ヒユ類に対する効果が高い
	アタックショット乳剤		30~50ml	
うね間	ザクサ液剤	雑草生育期 収穫28日前まで	300~500ml	100~150ℓ アサガオ類、ツクサ類に効果がある 大豆にかからないように散布を行うこと

※大豆バサグラン液剤とアタックショット乳剤は、薬液がかかった大豆の葉に薬害が出ますが、新しく展開する葉への影響はなく、次第に目立たなくなります。ただし、大豆が生育不良等の場合は薬害を助長する恐れがあるので、使用上の注意事項を確認してください。

◆病害虫防除(10a当たり)

農薬名	使用量・希釈倍率	使用水量	対象病害虫
ガードベイトA	3kg	-	ネキリムシ類
トルネードエースDF	または 2,000倍	100~300ℓ	ハスモンヨトウ
プレバサンフロアブルS	または 4,000倍		
エクシードフロアブル	または 2,000倍		
アミスター20フロアブル	または 2,000倍~3,000倍		カメムシ類
トップジンM水和剤	1,500倍		紫斑病

※ガードベイトAはネキリムシの発生を確認したら株元に散布します。(生育初期)
 ※プレバサンフロアブルSやトルネードエースDFは、ハスモンヨトウ幼虫が大きくなると薬効が低下するので、幼虫が分散する前に防除しましょう。

増収と品質向上のポイント

- 排水対策の徹底 → 弾丸暗きよ、周囲溝、うね立播種など
- 適期播種 → 7月20日までに必ず播種
- 中耕培土の徹底 → 雑草防除、倒伏軽減
- 雑草・病害虫防除 → 播種後、中期除草剤の活用

＜フクユタカの品種特性＞ (福岡県における主要農産物品種特性表より)

播種日	開花期	成熟期	耐倒伏性	耐病性			収量	品質	百粒重
月・日	月・日	月・日		葉焼病	褐斑病	紫斑病	kg/10a		g
7・10	8・19	11・3	中	強	強	強	339	中の上	30.9

※農薬散布時には、周辺作物への飛散に注意しましょう!

◆望まれる京築の大豆づくり
 目標単収 200kg/10a、上位等級比率 90%